

2025 年度事業報告

《方針》

当館は、地域の美術と文化を発掘し、振興を図るとともに、画家加納莞薔の平和思想を広く広める活動を行う。

目的

美術館を運営し、美術工芸品の展示公開、調査研究等を行い、合わせて芸術鑑賞の意識を高め、地域に根ざした芸術文化の発展に寄与することを目的とする。

事業内容

- (1)美術館の管理運営
- (2)美術館資料の公開、保管、展示
- (3)美術館資料に関する調査研究、講演会、研究会等の開催
- (4)芸術鑑賞の意識を高め、「画家加納莞薔の目指した恒久平和へ向けての思い」をベースに地域芸術文化の発展に寄与するための事業
- (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

I 独自事業

1. 加納莞薔とエルピディオ・キリノの思想・業績を広く世に伝え、また、次世代へとつなぐ。

- ① 加納莞薔と外国の要人や機関との往復書簡を安来市の文化財として指定することに向けた活動

→ 7/24 安来市指定有形文化財に指定された。

指定記念事業として、3/8 講談師・玉田玉秀斎さんの公演、広島市立大学永井均教授の講演会を市教委と共催し、約 100 人が参加した。

- ② ユネスコ「世界の記憶」登録再申請のため発信に努めるとともに、下記の各機関の協力を得るなどして、機運を醸成する。

島根県、安来市、安来市教育委員会等の関係部局

島根大学ほか、大学などの学術機関(研究活動)

平和に対する活動をしている諸団体

フィリピン国内の関係諸団体

→ ①の安来市有形文化財の指定を受けたことにより、次のステップへ向けた活動に入る。

- ③ 学校(児童・生徒)、交流センター、また地域内外の各種団体への講演活動

→ 講演の依頼を受けて、市内及び市外(県外)の学校、各種団体への講演を 21 回行った。(別紙 1)

- ④ バーチャル展示により、加納莞薔の思想・業績について、オンラインで公開を目指す。→ 引き続き企画を進める。

2. 美術品の修復及び購入

①加納莞菴(辰夫)の作品について

→「紫陽花」1点の修復(市備品)が市負担で行われた。

作品購入は2025年度は行わなかった。

3.「加納莞菴平和国際交流基金」の運用 → (別紙2)

4. 加納美術館での企画展を実施した。

企画:三つのキーワードをもとに立案し企画展を行った。(別紙3と4)

① 平 和 ②地域性と地元出身作家 ③収蔵品活用

② 入館者は、9,155人、入館収入は6,081千円 だった。(別紙5と6)

II 委託 事業(指定管理 2023～27年度)

1. 安来市加納美術館の運営全般(安来市より委託)

・市条例に基づき管理・運営。

・収蔵品を活用した展覧会開催。

・施設・設備の管理

→ 2026年1/6に発生した地震により、玄関(館内側内側ドアも含む)の通用口扉が下がり、開きにくくなっていたが、市の負担で修繕された。

また、D展示室の展示ケース内の天井部分に不具合が発生し、市の負担で修繕された。

館内の展示室内、廊下の壁のクロスに罅割れ、剥がれ、館外の壁に罅割れ等があり市へ報告しているが、まだ修繕には至っていない。

館の公民館側の窓に日よけ用のサンシェードを設置しているが、強風により破損し、市で修繕した。

(I・IIの共通項目)

① 資料の収集・保存について

作品修復を適宜行う → 2025年度は「紫陽花」修復。

寄託・寄贈作品の受け入れを行う → 預かり品のみ

デジタル台帳(データベース)を完成させ、活用する

→ データベースは引き続き入力中。

② 調査研究について

デジタルデータベースを活用する

→ 加納辰夫文書のデジタルデータベース化を開始した。

他機関(博物館、美術館等)と相互協力

→ 2026年度展示のため、笠岡市立竹喬美術館、河井寛次郎記念館等と協議を始めた。

③ 展示について

常設展 加納莞菴展 通年展示する

→ 文化財指定を受け、10月～4月初まで加納辰夫文書の実物の展示を行った。

収蔵品展 随時もしくは企画展に合わせる

→ 備前焼のうち、細工物を特集しての展示をした。

④ 教育普及：下記を適宜実施する

対話型鑑賞会「アート de トーク」

→ 各企画展ごとに開催した。加納美術館ならではの教育活動として定着した。

講演会

→ 各企画展ごとに開催した。

戦後80年をキーワードに莞菴の活動について学ぶ連続講座(莞菴講座)を4回開催した。(のべ 108 人参加)

ワークショップ → 広瀬絢の着付け体験

名碗を愉しむ会、喫茶去 → (別紙 7)

アウトリーチ(出前授業・出前展示) → 別紙 1

バーチャルミュージアムの構築を検討する。

→ 具体的な検討には及ばなかった。

データベースを活用した音声ガイドを実用化する。

→ 安来高校の協力を得るところまでは話を進めたが、具体化は持ち越し。

市内中学校の生徒に向けた「平和学習」や、入館のお客様への説明を行った。

(別紙 8 と 9)

⑤ 地域連携

市内各施設や、文化協会、しまねミュージアム協議会などアソシエーションと強く連携する

→ それぞれの会議などに参加した。

⑤ 観光振興

市や県の観光協会や各部局との協力と連携する。

観光のための商材として位置づける。

→ 情報提供を行った。

多言語対応は AI を活用することを試した。(パネル他)

⑥ 福祉

障がい者対応などにつとめる。

→ 車いすの修繕をして、2 台使用可能とした。

⑦ 広報

紙媒体：ポスター、チラシ、市広報誌「どげなかね」、「美術館つうしん」、新聞広告

→ 美術館つうしんは、企画展ごとに発行した。(4 回)

リーフレット 外国語版(英語・フランス語)の制作 → 具体化には至らなかった。

放送媒体：テレビ・ラジオ CM 行政告知

インターネット：公式ウェブサイト、各種 SNS

パブリシティの活用 プレスリリース

} → 企画展や行事ごとに行っている
また、新聞にちらしの折込みを行った。(市内全域)

⑨ 接遇

親しみやすく親切な接遇をひきつづき心がける

おもてなしのお抹茶サービスを実行する。

→ 抹茶の価格高騰などの事情により、番茶でのおもてなしに切替えて実施。

併設レストラン「やまきや」と協力。

感染症の予防については、引き続き十分に配慮した。

Ⅲ 運営全般

1. 人材の確保

① 次世代の学芸員の確保

→ 2027 年度には 2 人の学芸員補が、学芸員資格を取得できるように準備を開始した。

② ボランティア、サポーターなどの制度の確立

→ 在布部の理事を中心にボランティアを依頼
サポーター制度については、具体化には至らなかった。

2. 事業資金の確保

① 各種ファンドの調査と申請に力を入れる

→ 適用されるファンドが見つからなかった。

3. 職員

理 事 長 加納二郎(学芸員)、常務理事 加納佳世子(名誉館長、学芸員)

常務理事 千葉 潮(館長、学芸員)

職 員 小藤喜美江、横山あかね(以上2名 学芸員補)、甲斐紗友美
安部美幸

神 英雄(参与、学芸員)

理事会 別紙綴り

- ◎ 別紙 1 2025 年度館外講演会
- ◎ 別紙 2 2025 年度「加納莞薈平和国際交流基金」助成金 事業報告
- ◎ 別紙 3 2025 年度展示報告
- ◎ 別紙 4 2025 年度企画展 お客様アンケート（抜粋）
- ◎ 別紙 5 2025 年度入館者数及び入館料収入実績書
- ◎ 別紙 6 2025 年度受付窓口聞き取り調査
- ◎ 別紙 7 2025 年度名碗を愉しむ会及び喫茶去について
- ◎ 別紙 8 2025 年度児童生徒利用状況（来館）
- ◎ 別紙 9 2025 年度団体・ご予約様来館者数明細

(別紙1)

2025年度 館外 講演会

【名誉館長】

日 付	場 所	主 催 者	人 数
5月3日	鳥取市生協レインボーホテル	鳥取市9条の会	60
5月17日	松江市・菅田会館	同左	55
6月8日	直江コミュニティセンター	出雲市直江地区人権推進協議会	50
6月25日	安来市立飯梨小学校	飯梨小学校	17
6月28日	大東交流センター	鳥取島根モラロジー女性会	200
7月1日	安来市立広瀬小学校	安来市教委(広瀬町4校合同)	45
7月1日	安来市立飯梨小学校	市教委	33
7月24日	益田市正法寺	浄土真宗鹿足組	50
8月5日	和鋼博物館	安来市文化協会	40
8月25日	比田交流センター	比田かえるの会	28
10月2日	温泉津まちづくりセンター	鉄の道商工会福光婦人会	50
10月3日	太田市立温泉津小学校	温泉津小学校	20
11月30日	灘分コミュニティセンター	灘分コミュニティセンター文化講演会	50
12月8日	大社小学校	大社小学校	43
12月10日	河南中学校	河南中学校	430
12月23日	益田・中西中学校	中西中学校社会科	25
2月5日	大阪吹田市立千里新田小学	大阪吹田市立千里新田小学校(1～3年生)	440
		大阪吹田市立千里新田小学校(4～6年生)	460
		千里新田地区まちづくり協議会	
2月20日	布部交流センター	広瀬認定こども園 年長組	21
2月21日	石原公会堂	石原サロン	20
3月26日	アルテピア	島根県出雲部神社総代会	300

2,437

(別紙2)

2025年度「加納莞薔平和国際交流基金」助成金 事業報告

1) 経過

募集 (前期) 2025年1月11日～3月1日

(後期) 2025年6月1日～8月31日

県及び県内各首長、教育委員会、市内交流センター宛ちらしを配布、また美術館ホームページでも告知した。

2) 助成先と実績内容

① PIECE of PEACE 島根教師の会 様

平和学習 島根ふるさと読本「私たちのふるさとに戦争があった頃」制作

⇒ 教材集「平和学習島根ふるさと読本」の制作・配布(県内全小学校、教育委員会へ配布)
県内小学校で読本を活用した出前授業実施(34回)、各種団体開催の会合での講演実施(4回)

② 石橋雄一 様

李政美コンサート イン 隠岐 開催

⇒ 隠岐の島町で歌手イ・ジョンミを招いたコンサートを実施。33名の参加。

③ フクミミ、森山奈津子 様

「エシカル・フィルム」上映会の開催

⇒ 4月から3月まで17作品の上映。270名の参加。

8月には、特別企画として、写真展(213名参加)、音楽会(15名参加)、講演会(25名参加)を実施。

ほかに、2点申請があったが、委員会で検討の結果、助成不可となった。

3) 最終助成金 900,000 円

① 300,000 円

② 300,000 円

③ 300,000 円

4) 経費

チラシ印刷、事務手続き、寄付者返礼品等 18,301 円

助成金振込手数料 1,980 円

5) (3)(4) 合計 920,281 円は、財団本会計で処理済のため、基金口座より財団本会計へ振替する。(実処理は、2026.4月となる)

5) 寄付金

2名 301,000 円 のご厚志を賜った。

(岡山県男性) 300,000 円 (男性) 1,000 円

6) 2026年3月31日付け基金残高：4,646,379 円

2025年度展示報告

期 間 (開催日数)	タイトル名	入館者数(人) /入館料(千円) /費用(千円)	開催テーマ	実施状況
4/12(土) ～ 6/29(日) (75日間)	バーナーデット・ワッツ 絵本原画展	2,865人 2,128.5千円 4,112.4千円	英国を代表する絵本作家バーナーデット・ワッツ。デビュー作から一貫して得意とするグリム童話を元に描いた絵本の原画と、彼女の60年近くに及ぶ画業を紹介。	・オープンニングセレモニー 4/12 来賓 穂積保さん、日本海テレビ島根総局長、秦教育長、市議他 ・ギャラリートーク 4/12 (穂積氏)、4/13、5/17、6/22 (学芸員) ・やさぎ図書館から「出張おはなしかい」 (4/27 13名、6/1 21名) ・名碗会 (4/20) 5名、(5/18) 7名、(6/15) 8名 ・トークイベント (5/4) 講師：市ヶ坪裕子さん 23名 ・アートdeトーク (5/25) 春日美由紀さん 17名 ・喫茶去 (4/26) 講師：中川清さん 21名、(5/24) 講師：細田暢三さん 18名 (6/28) 講師：永島マナビスさん 24名、 ・布部観光協会主催はたる鑑賞会共催で、ナイトミュージアムを開催 (6/22) 29名
7/12(土) ～ 10/5(日) (74日間)	安部朱美人形とたどる昭和100年・戦後80年	4,149人 2,613.0千円 3,821.1千円	昭和100年・戦後80年の記念の年に、米子市在住の作家安部朱美さんの人形とともに激動の時代をたどる展覧会。	・オープンニングセレモニー 7/12 (土) 来賓・安部朱美さん、山陰放送島根支社長、秦教育長、市議他 ・トークイベント (8/3) 講師：安部朱美さん 41名 ・ギャラリートーク 安部朱美さん (8/24) (9/23) 他設定日以外にも実施された ・ギャラリートーク 学芸員による (8/10) (10/5) ・アートdeトーク (7/27) 春日美由紀さん 10名 ・名碗会 (7/20) 8名、(9/21) 8名 ・喫茶去 (7/26) 講師：山脇宗子さん 15名 (9/27) 講師：加藤茂樹さん 24名 ・莞菴忌 (8/15) 子どもたちの朗読、ゴスペルオブライブコンサート 100名 ・安来市平和のつどい (9/14) 終日入館料無料とし、閉館時間を18時(最終入館17:30)に延長した。 ・下垣真希平和コンサート (9/28) 103名
10/11(土) ～ 12/22(月) (63日間)	こうげいやさぎ 紘の美 広瀬紘の今 伝習所一仕事を継ぐ 人びと	1,384人 899.7千円 1,140.7千円	広瀬紘の復興と継承に長年携わってこられた永田佳子さんの作品を中心に、伝習所で学び実践を重ねる作り手たちの仕事を紹介する。	・オープンニングセレモニー 8/3 (土) 来賓：永田佳子さん、山陰中央テレビ ビジネス局長、秦教育長、市議他 ・講演会 (10/12) 講師：永田佳子さん 27名 ・手織り体験 (10/12) 2名、(10/26) 6名 (11/9) 20名 (11/23) 17名 (12/7) 10名 ・アートdeトーク (10/18) 春日美由紀さん 8名 ・学芸員によるギャラリートーク (10/26) 6名 (11/23) 13名 (12/14) 4名 ・着付け体験 (11/15) 12名 ・名碗会 (10/19) 7名 (11/16) 13名 ・喫茶去 (11/22) 講師：久村和枝さん 21名
1/18(日) ～ 4/5(日) (69日間)	碗の中の小宇宙 鈴木禎三展 小企画展 加納渾基コレクション 『備前焼』	741人 443.7千円 876.5千円	岡山県津山市で活動中の陶芸作家。「窯変天目茶碗」を独自に制作し注目されている。本展では、当館の備前焼コレクションとコラボ展示する。	・1/6「布部断層」を震源に地震発生。展示前のため作品の被害はなかった。 ・2階展示室天井等に被害が見られ、修繕作業により3/1までは観覧不可、3/2から可能とした。 ・余震を考え、展示作業は1/14から開始し、オープンは1/18とした。 ・(2/8)大雪のため臨時休館とした。 ・ギャラリートーク (作家) (1/18) (2/28) 17名 (3/29) 15人 ・ギャラリートーク (学芸員) (2/22) 11名 (3/22) 5名 ・アートdeトーク (2/21) 春日美由紀さん 14名 ・名碗会 (3/15) 16名 鈴木禎三さんも自作品をもって参加 ・喫茶去 (3/28) 講師：宇山恵美子さん 25人
同時開催 4/12～6/29 今願うー世界の平和を 7/12～12/22 今こそー世界の平和を 1/11～ 今願うー世界の平和を		***	2025年は戦後80年にあたり、より深く莞菴の平和への想いを絵画作品と資料を通じてご覧いただく。	・パネル、資料、作品など莞菴の平和への活動の軌跡を展示。 ・人権、平和などをテーマに、名誉館長のお話を聞く団体展示も多かった。 ・(7/24) 加納辰夫文書が『安来市指定文化財』に指定された。 ・(3/8) 加納辰夫文書安来市文化財登録記念事業 玉田玉秀斎さん講談&永井均さん講演を、市教委とともに布部交流センターで開催 (参加者100名) ・美術館講座 莞菴を知ろう 講師：加納佳世子 「I」(6/7) 16名、「II」(7/5) 18名、「III」(8/2) 23名、「IV」(9/6) 51名

(別紙5)

入館者数及び入館料収入実績書

2025年度

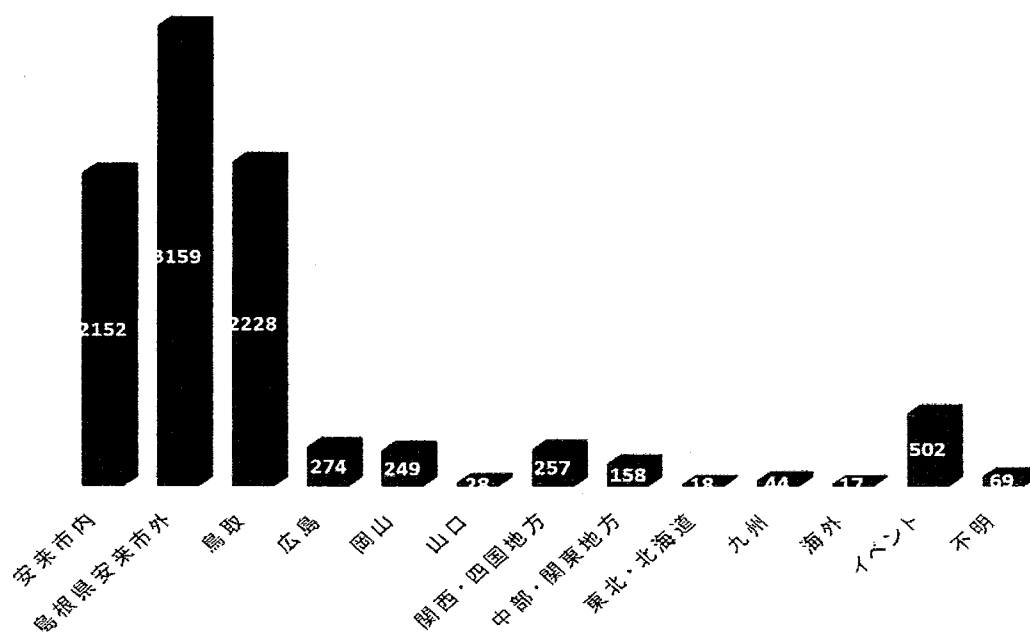
	入館料収入 (円)	入館者 数 (人)	入 館 内 訳											イベント内容
			一般	学生	団体	他割引	他割引 (GG)	DM割	パスポ ート	身障者	招待券	小人	イベント	
4月	428,300	619	121	2	30	249	0	10	23	66	86	32	0	
5月	843,550	1,082	277	15	26	480	0	13	21	91	83	53	23	5/4 講演会
6月	831,400	1,135	253	8	28	467	0	28	25	82	140	88	16	6/7美術館講座
7月	571,500	757	217	2	74	247	0	1	25	37	104	32	18	7/5美術館講座
8月	635,050	1,146	254	12	0	338	0	0	19	74	239	46	164	8/2 美術館講座 8/3講演会 8/15莞薔忌
9月	952,850	1,682	354	9	60	507	0	0	15	96	286	201	154	9/6美術館講座 9/27下垣真希平和コンサート
10月	856,150	1,244	327	3	82	410	0	5	26	85	159	120	27	10/12講演会
11月	386,250	538	119	7	0	252	0	0	6	49	60	45	0	
12月	214,600	310	65	2	0	143	0	0	12	27	58	3	0	
1月	26,600	48	23			1			5	5	12	2	0	
2月	106,850	170	111	1	0	2	0		10	25	19	2	0	
3月	227,950	424	69	1	25		0	0	20	15	34	9	100	3/8講談&講演会
合計	6,081,050	9,155	2,190	62	325	3,096	0	57	207	652	1,280	633	502	

(別紙6)

受付窓口 聞き取り調査 (2025年度)

(単位:人)

どちらからお越しですか



各地域から、たくさんの方にご来館いただきました。
ありがとうございました。

地域名	(人)	(%)
安来市内	2,152	23.5
島根県安来市外	3,159	34.5
鳥取	2,228	24.3
広島	274	3.0
岡山	249	2.7
山口	28	0.3
関西・四国地方	257	2.8
中部・関東地方	158	1.7
東北・北海道	18	0.2
九州	44	0.5
海外	17	0.2
イベント	502	5.5
不明	69	0.8
合計	9,155	100.0

(人) (%)

大阪・116人、兵庫・68人他
東京・58人、神奈川30人他
北海道・17人他
福岡・15人、長崎・11人他
アメリカ・7人、フィリピン・3人他

(別紙 7)

★名碗を愉しむ会

4 月～翌 3 月まで (8 月、12 月～2 月除く) 8 回開催

のべ参加者数 67 人

参加費収入 134,000 円 (2,000 円/人)

費用 133,102 円

茶室利用料 (@3000 円)	24,000
お手伝いさん交通費 (のべ 12 人)	60,000
お手伝い昼食代	22,850
お菓子代	26,252
費用合計	133,102

収支は・・・

134,000 円－133,102 円＝898 円 (+)

★喫茶去

4 月～翌 3 月まで (8 月、10 月、12 月～2 月除く) 7 回開催

のべ参加者数 148 人

参加費収入 140,000 円

費用 145,213 円

新聞折り込み料	5,313
折り込みチラシ印刷代	16,100
お茶代	88,800
講師謝礼 (のべ 7 人)	35,000
費用合計	145,213

収支は・・・

140,000 円－145,213 円＝5,213 円 (－)

★まとめ

美術館の収益事業ではなくイベントである、という認識のため、大幅 (+) は望まない。参加費の範囲内での催しとなるが、1 回あたりの参加者が少ないと (－) になり、多い月は (+) となる。年間のやりくりでトントンとなった。
いずれも、リピーターが多く参加された。

(別紙8)

2025年度 児童生徒利用状況(来館)

日付	学校名	人数	
6月4日	安来市立母里小学校	10	
7月30日	布部・夏休みわくわく体験	10	
9月17日	安来市立第二中学校	28	平和学習
9月18日	安来市立第一中学校一年生	4	ふるさと学習
9月22日	安来市立第一中学校	84	平和学習
9月25日	安来市立第一中学校	79	平和学習
10月16日	安来市立第三中学校	56	平和学習
10月30日	安来市立広瀬中学校	53	平和学習
11月5日	安来市立伯太中学校	37	平和学習

(別紙9)

2025年度団体・ご予約様来館者数明細

(10人以上)

企画展名	来館日付	団体様名	人数
バーナーデット・ワッツ 絵本原画展	4月29日	広瀬・安来ライオンズクラブ様	30
	5月16日	菅原うきうきサロン様	11
	5月18日	JAくにびき女性部八雲支部様	26
	5月23日	島根県アンデパンダン展実行委員会様	14
	5月28日	松江・二子二松睦会様	17
	6月4日	岡山・境地区生産組合様	29
	6月5日	安来市教委・ふるさと学習様	27
	6月5日	倉吉・国際ソロプチミスト様	13
	6月21日	こどもディサービスわこう様	11
安部 朱美人 形展	7月16日	大谷上寿会様	35
	7月19日	三良坂平和美術会様	14
	7月25日	米子・尚徳公民館様	20
	7月28日	鉄の道商工会 & 安来市商工会様	19
	9月11日	大阪健康福祉短期大学様	39
	9月19日	IARF北海道地区様	15
	9月22日	日吉津村社協様	17
	9月23日	昭和館を愛する会様	35
	9月26日	菅原うきうきサロン様	13
	9月29日	宍道公民館様	25
	10月1日	新日本婦人の会 & 民主商工会婦人部様	24
広瀬 絢展	10月15日	塩冶地区人権同和教育推進協議会様	15
	10月20日	JAいずも出雲南支店様	13
	10月20日	四季が丘もみじ会様	16
	10月23日	乃木公民館様	38
	10月29日	出雲市人権同和政策課様	20
	10月30日	大阪・游山の会様	11
	11月12日	くにびき学園様	14
	11月20日	世界平和連合様	13
	11月23日	倉吉文化財協会様	10
	11月27日	鹿島公民館様	11
	11月29日	日赤 あゆみの会様	10
鈴木展	3月20日	幸神町ふれあいの家様	25